

行政視察報告書

行政視察の結果について、下記のとおり報告します。

令和7年12月15日

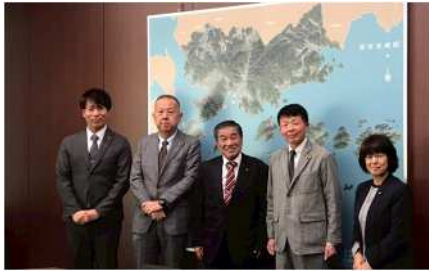
光市議会議長 森戸 芳史 様

議員 森戸 芳史

記

- 1 調査年月日 令和7年11月18日（木） 13:30～15:00
- 2 調査市等 呉市議会議会だよりの企画・編集について
議会報告会について
- 3 調査結果 別紙のとおり

調査結果

日 時	令和 7 年 11 月 18 日（木） 13：30～15：00	
調査市等	呉市議会	
調査事項	市議会だよりの企画編集、議会報告会について	
説 明 者	阪井政策研究会委員長 光宗広報委員会委員 悦木議会事務局次長	

<議会だよりについて>

●広報委員会の目的と位置付け

呉市議会基本条例第 24 条で議会活動の周知に基づき、協議等の場として議会広報に関し協議を行うため広報委員会を設置。各会派から選出された各 1 名の議員及び議長の指名により 6 名で構成。

●媒体の概要

創刊：平成 29 年 5 月創刊 年間発行回数：5，8，11，2 月（4 回・各月 10 日）

発行部数：各回 87,000 部、年間 34,800 部 規格 A4，冊子型、とじなし製本 4 色カラー

文字の大きさ 11.5 から 13 ポイント 紙質アルファマットコート紙 35kg

●編集スケジュール

① 発行日の 15 週前

・特集の取材は委員 2 名と職員

② 発行日の 9 週前

・第 1 回広報委員会の開催 表紙案・全体構成・スケジュール協議

③ 発行日の 7 週前

・第 2 回回広報委員会の開催 前回協議事項修正、議案審議 3 件の選定、一般質問原稿作成依頼

④ 印刷会社に入稿 ⑤発行日 2 週前 ・第 3 回広報委員会開催 原稿の確認

⑤ 発行日 1 週前 ・校了 最終原稿を委員のタブレットに配信、最終チェックは委員長一任

●配布：自治会加入世帯 83，000 部 海自呉地方総監部、特集取材先

●予算 委託料 955 万円(委託料は印刷製本費でデザイン料は含まない)、視察費 64 万 8 千円で広報委員 6 人×10 万 8 千円、2 年間で 1 回視察可能

●令和 4 年度のリニューアル

もっと市民に見てもらえる議会報にしたいという議員の機運の高まりにより令和 3 年度にリニューアルに向けた検討開始。議会広報紙で内閣総理大臣賞受賞の専門家の助言により、表紙は脳裏に焼き付く写真で、**伝えるのではなく伝わる広報紙**を目指した。

- ・紙面の刷新：縦書きから横書き、文字数を減らし、余白を確保。写真やイラストを多用。
12pから16ページに増刷。
- ・専門家による研修：PRDESINJAPAN 費用148,500円 研修会45,000円×2時間、議会広報デザイン・アドバイス一式（45,000円）。
- ・若者に情報を届けるために高校での報告会后、記事が掲載された議会報を各高校に配布。配布が難しい高校については紙面データを生徒のタブレットにも配信。
- ・中核市議会議長会議会報コンクールで最優秀賞を平成30年から3回受賞。

<所感>

議会報のデザイン料は含まれておらず、担当職員がベースを作成し、議員が議論し決定していく。16Pの議会報を作成するには専任に近い職員が割り当てられ、だれが担当しても作成できるようシステム化されていることが参考になった。

<議会報告会について>

●議会報告会の目的

呉市議会基本条例第10条で姿勢の諸課題に柔軟に対応するため、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換するため。

●議会報告会の歩み

- ・平成22年度 市内2会場で試行開催。担当は議会基本条例実行委員会。参加者は273名。
- ・平成23から27年度は議会基本条例実行委員会から政策研究会（各会派から1名で構成）へ移管し常任委員会所管事務に関連する4団体で開催。団体市内16か所で開催。担当は常任委員会、参加者は年度ごとに、858人、593人、572人、691人、455人。
- ・平成28年度 市内10会場で開催。さらに高校5校で開催。担当は常任委員会、政策研究会。参加者は一般252人、関係団体124人、学校155人。

●議会報告会のテーマ

「議会の仕組み」についてが共通。テーマは各常任委員会の所管事務。

●議会報告会の特色

- ・**地域開催**：地域から提示されたテーマに基づいて、住民の皆さんと意見交換を行う。
- ・**学校開催**：議会の仕組みについて説明し、市政や議員に関する学生からの疑問に答える形で意見交換を行う。

■ 最近の開催状況は、以下のとおりである。

令和5年度：地域5か所と学校9校で開催され、空き家問題やイノシシ被害対策、自治会活動の課題、地域産業と観光振興などがテーマとなった。

令和6年度：地域3か所と学校9校で開催した（学校9校のうち6校は、小グループ制※で

実施)。

※より活発な意見交換になるよう小グループ制を導入

令和 7 年度：高校 9 校、大学 1 校より申込があった。令和 7 年度から、高校での議会報告会を行うにあたり、全体の主権者教育は WEB を活用して説明し、その後の意見交換は、各教室で行った。

<所感>

光市議会と同時期に報告会を始めている。常に改善が行われ現在の形になっている。広報委員会は広報作成だけであり議会報告会は副議長をトップとする政策研究会が担う。報告会での意見は事前に提案する方式をとり、回答を会場で返し、意見の中身についてはホームページで公表していない。それぞれの議員がそれぞれの活動の中で活かしている。報告会終了後の議事録起こしや回答の各委員会への振り分け、回答作成の手間がなく、議会報告会を持続可能なものとしている点が大変参考になった。